平成３０年7月２６日
東京臨海高速鉄道㈱

東京臨海高速鉄道における電気職の業務紹介

１．業務内容

当社は、営業キロが 12.2km の中小規模の鉄道会社です。

鉄道事業者にとって、設備の維持管理は電車の安全運行やお客様サービス向上のために必要不可欠なものであり、技術社員は日々細心の注意を払って点検を行っています。

安全運行の維持には、点検だけでなく、設備の機能維持や時代の要求に応じた機能向上のための補修・更新が必要であり、これらの工事等を発注するための企画・調整・設計・工事監理も行います。

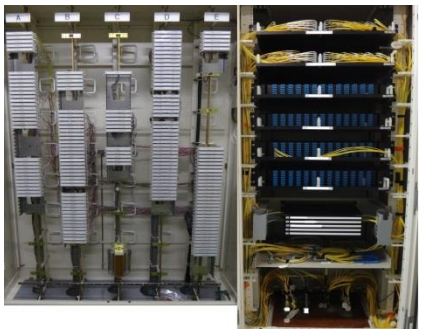
電気職の業務は、受変電・照明・信号・通信設備など鉄道設備の設計・修繕等であり、これらは列車の安全・安心・安定運行を支えている重要な設備です。開業から 22 年目を迎え、技術社員には施設補修や設備の故障対応など、365 日運行する鉄道の安全を確保しながら、旅客サービスを低下させない対応が求められています。また、今後は老朽化した電気設備のリニューアルなど大規模な設備の更新が本格化します。りんかい線は、電気職の皆様の実力を発揮できる機会が数多くある職場です。

２．勤務時間

①設備管理区	８：４５～１７：３０	４週８休（交代で土日出勤あり）
②電気指令室	８：４５～翌日８：４５（実働１５時間３０分）	４週８休（交代で土日出勤あり）
③本社設備課	８：４５～１７：３０	土日祝日休み

※ <u>①、③は夜間の作業立会等があります。その場合、翌日が明けとなります。</u>

参考写真（主な機器）



写真左から、「主変圧器」「非常用発電機」「ＭＤＦ・ＦＤＦ」